



自由民主党 中野敏浩 4



問 廃棄方法を誤ると発火の危険がある充電式電池が、不燃ごみ等さまざまなごみに混入しているとのこと。有効な混入防止対策の周知について伺う。

答 環境部長 現在、家庭ごみの分け方・出し方の冊子、ホームページ、広報、ごみ分別アプリにより周知を図っている。

今後については、充電式電池および充電式電池



問 充電式電池の廃棄方法

使用製品の不適正な排出により発火・火災の危険性が高いことを市民に理解してもらうため、イベント等の機会を活用して啓発資料の配布を行うなど、より一層の周知啓発を図っていきたいと考えている。



自由民主党 中原秀文 5



問 「夢」を持つことで、「人生を生きる力」が育まれると思うが、子どもたちが「夢」を持ち育てるために必要な取り組みについて教育長の見解は。

答 教育長 子どもたちが、人生を切り開いていくためには夢や目標を持つことが大切で、まず大人や行政がその姿勢を示すことが大切である。学校では、学力の向上

やささまざまな体験を通して、将来の夢や希望につながるよう選択肢を広げること、自己有用感や自己肯定感、自立心を培うことが求められる。現在取り組むふるさと学習を通して、郷土を良くしていくこと、川越や現代社会の課題に関心を持つことも、将来の選択肢になると考える。**問** 人生と行政との関わり



自由民主党 岸 啓祐 6



問 山王塚古墳、牛塚古墳、河越館跡を巡る解説員付きの見学会実施も考えられるが、国指定が見込まれる山王塚古墳の今後の整備方針を問う。

答 教育長 東山道武蔵路を介して、それらが点でなく線で結ばれることで、個別の遺跡見学会と異なり、古代から中世の川越の歴史を訪ねる重層的な見学会になると思う

ので、実施に向け調査研究したい。国指定史跡になった場合、保存活用計画を策定し、保全と環境整備等の方針を立て、具体的な整備内容を検討したい。また、市が管理者となることで、土地所有者の同意の上、史跡の保存に影響がない程度の樹木伐採や除草を行うことができる。**問** 史跡の整備活用



自由民主党 小高浩行 7



問 子どもの学力向上のためには、学校・家庭・地域が連携していく必要があると考えるが、教育長の見解を問う。

答 教育長 学校・家庭・地域が連携し、地域ぐるみで子どもたちを育てることは必要不可欠である。そこで、家庭・地域の力を連携させる中核となるよう、令和5年度から

を全校で実施する。また、ふるさと学習において、地域の中で探求的に学ぶことを通して身に付けた力は、学力の向上につながる。次代を担う子どもたちのために、学校・家庭・地域の力を結集し、生きる力となる確かな学力を育成したいと考える。**問** 教育振興計画と諸課題 **問** 農業水利の機能保全



無所属 糸 真美子 8



問 国が策定したみどりの食料システム法により学校給食における有機農産物の活用が期待される。1品1日1校でも試験的に実施してはどうか。

答 市長 学校給食では、現在も地場産の食材を積極的に使用しているが、有機栽培されたものの使用は、流通量や購入手段の確保、大きさなどの規格の設定、購入価格の上

昇に伴う学校給食費実費徴収金の設定など、現状では多くの課題があり、難しい状況である。今後もオーガニック給食を実施している自治体や事業者から情報収集を継続して行っていく。**問** オーガニック給食 **問** 文化芸術振興



無所属 小林 薫 9



問 市長の裁判で、被告提出の書面に「川合が同窓会で治療薬を処方し」と絡み、同級生に注意されていた」と記載されているが事実か。

答 市長 その陳述書は、再伝聞のものであり、この点については裁判で争っていく。反対証拠も出していきたくと考えている。



問 川越まつり **問** セクハラ行為の疑惑